

図の上部には、次の口上がある。

東西く

芝翫 御町中様御機嫌よく恐悦至極に存じ

奉り升る 随したがひ升もりて守田座打

つゞき繁栄はんえい仕候も御ひるき御

蔭かげと座中一統いつどうありがたき仕合にぞんじ奉り

升る 扨御披露申上奉り升るは此度浪なに

花表はより大江戸しゅつせゐ出生の大谷友松儀罷り

下り久々ひさくにて御目見への致し升るやうにムリ

升ると申升た所ところが口不調法の私ゆへいさ

ゐは哥山たのを頼み升たのて申上たの升る様にムリ升る

○モシ尾張屋おはりやの叔父御おちこ何れも様へ長ながく御不ふ

沙汰さたの御わびをよいやうに申上たのてくだ

さい升 哥山 是は誠まことにめいわくと辞退じたい

いたすもおとなげなひゆへ座ざがしらの

名代めうだいかた ぐ申上たの升るやうにムリ升る

何れも様いづにもおなじみの友松えうせうを幼少みぎりの砌

より御引立にあづかりどぶやら斯うやら役者の

数にも成りなうゆへ猶 出情 修行いたし度と先

年親共同道にて 上坂の致し候所修行中に親友

右衛門儀は帰らぬ旅路に 趣き

便りなき身も只大江戸へ立

戻り何れも様がたへ御目見得致しなば

弱を恵む大江戸の御氣質ゆへおん

見捨も下さるまいと夫のみ力に早く下りたいと楽しみ居りまし

たるに時節至来致し升て今般御当地へ罷り下り久々に

御目見へ致 升る段当人身にとり盲亀の浮木に

逢へるの悦び有がたき仕合に存

奉り升る 三猿 ♪お咄の中ばへ私が口

出しを致す訳ではムリ升せぬがお 互に御当地 出生の竹

馬の友松の儀でムリ升故兄弟とも存待こがれて居り

升たどぶぞ御ひるきを願ひ升と申も嬉しざの

俣出過升た段は幾重にも御用捨下さい

まし 中車 ♪お互に江戸ツ子は江戸ツ子とし

ひとりも余斗よけいになると私のやうな未熟みじゆくぶ

調法てうぽうな者は氣きが丈夫になり升その上に御

ひるき様をお力に江戸ツ子だとゑばつて見たう

ムリ升 梅雀 ♪ 皆さん方はお浦山うつらしい大江戸 根生こんじやうの事

ゆへに御ひるき様が 後立うしろだてになつて氣きつよく

ムらうが悲かなしい事には浪花なげな育そだちのわたくし

ゆへ只ただかはいそふだと思召ての御ひるき様

のお恵めぐみと師匠しせうの芸げいを持升しじゆうて始終

はごふか江戸ツ子まがひになり升るやう

□□ ♪ 又私せきなどはかやうなお席せきへつら

なり升るも身の裏めうが加かなにとぞ

御ひるきを願ねがひ升ると申も恐

多おほふムリ升ゆへたゞ御ひるきの

数かずとりになされて下さり升

曙山 ♪ 是はしたり皆さんかんじんの

下りさんにもかまはず自分じぶん

勝手がってを云いはずともともの事こと〇モシお

まゑ久くのおはびを仕しなさいな

友松 ♪それはあまり差出がましいやうに存じ

升るが申上てもよろしう

ムリませうか 芝かん ♪よいとも

皆様^{みなさま}がたも御待^{まち}かね 友松 ♪さやうならお詞^{ことば}に付まし

て申上^{まを}升るやうにムリ升る無余儀^{よぎなく}も先年^{しやうはん} 上坂

致し升てより明暮^{めいぼ}に大江戸^{おやう}の空^{そら}なつかしくどふぞ一刻^{いっく}も

はやく修行^{しゆげう}をとげ下りたいと日々思ひつゞけ升たる念^{ねん}が

とゞき升てやうくの事で立戻りお目見得^{めみえ}を致し升るも身の冥加親共^{みうが せんしやう} 存生^{ぞんしやう}に

居り升たなら嘸^{さぞ}よろこびませうになき人の数^{かず}と成り升たれば残念^{ざんねん}に

ムリ升るが親共^{おんな}かね く私^{わたくし}へ申聞^{まをき}升るには手前はおれのやうな

敵役^{かたきやく}を仕やうと思ふなおれは皆さまがたに一生憎^{いっしやうにく} まれて仕まつた

が手まへは皆さまがたに沢山^{たくさん}可愛^{かあい}がつてお貰^{もら}ひ申さねば成らぬ

ゆへ一生憎^{いっしやうにく} まれ役^{やく}をするなどのゆい言^{げん}に御ざり升るゆへかたき

役はつとめませぬ程^{ほど}沢山^{たくさん}御ひるきを下さり升ねば亡父^{ぼふ}へ

たいしても済^すませぬゆへはどかりながら左様^{さやう}おぼし召^{めし}升て格^{かく}べつ

の御ひるきをねがひ上奉り升る 曙山 ♪それは申上ずとも皆様が

御承^{おんじやう}知^ちの事又

その上にも愛あいきやうをもつやうに。私わたしの

役のかさなつた時にはいやでもおふでも女がたをつとめ

てもらはねば成り升ぬ 友松 ♪ どうしてそのやうな事が

曙山 ♪ それもわたしが承知せうちづく差図さしづといふと

嗚呼おほがましい

やうでムリ升が相談さうだんをして是非せいひすけてもらはねば成らぬ事

も有る様に 女形おんながたの事は私まかへ任せて置おいた方がよ

いかと存ぞんじ升るが皆様

左様ではムリ升ぬか 芝翫 ♪ その事も皆様がたが御存知せうちでいらつしやるまじ

是で御披露ひらうも済すんだれば何卒此上は友松御ひるき御取立

の程花ほどの大江戸の隅すみから角迄すみ是につらなり升たる者共一統いっとうへも

相替らず御引立を希上奉り升